

■日隆 僧。日蓮滅後の混乱した法華經の教えを糺すべく献身。京都本能寺を創建し、日蓮宗の教勢を拡大。

にちりゅう

・ ・ ・ ・ ・ 1385＝ 越中国射水郡浅井郷島で、_足利一門の武将桃井直常の孫尚儀の子に生まれる。母は益子。幼名長一丸。
南禅寺五山上1386＝ 1歳：この年、妙本寺月明誕生。
・ ・ ・ ・ ・ 1387＝ 2歳：この年、南北朝の動乱に加えて比叡山の攻撃を受け、妙顕寺が破却され、日霄上人が若狭の小浜に避難。

南北朝合一・1392＝ 7歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1393＝ 8歳：この年、日霄上人が京都還住を許され、妙本寺を再興。
義満太政大臣1394＝ 9歳：

母が病床に伏していたことから、出家の道を選ぶことになり、
・ ・ ・ ・ ・ 1396＝11歳：_父に連れられ、郷里の遠成寺の住持慶寿院に師事、剃髪・得度して深円と名付けられる。
金閣寺・ ・ ・ 1397＝12歳：母が死去。

研究心旺盛で、

花伝書・ ・ ・ 1402＝17歳：_叔父である日存・日道両師を頼って、上洛。妙本寺の日霄入門、日立と名乗り、日隆と称する。
・ ・ ・ ・ ・ 1403＝18歳：この年、月明剃髪。

・ ・ ・ ・ ・ 1405＝20歳：_日霄が死去し、月明が妙本寺を継承。
_日存・日道両師から、本門勝迹門劣、本門八品正意こそ、日蓮の教えであることを学び、純粹法華の再興に邁進すべく、

足利義満没・1408＝23歳：
_月明の摂受的立場に反対して、
・ ・ ・ ・ ・ 1410＝25歳：_日存・日通とともに、妙本寺を退出して諸寺に遊学。日存と、越後本成寺に日陣を訪ね、日道と再訪。

・ ・ ・ ・ ・ 1412＝27歳：
この間、両師からの教学をもとに、蓄積を重ね、

・ ・ ・ ・ ・ 1415＝30歳：下宮勸学院善深より「法命集」を贈られる。***小袖屋宗句施主となり、本応寺を創立。**
上杉禅秀の乱1416＝31歳：_おそらく父が死去して、桃井家家老間に争いが起こり、中村元助が反乱を起こすと、中村元成が日隆から与えられた「お馬絵像」を掲げて鎮圧。元成は出家して日永と改め、元成寺を創す。

・ ・ ・ ・ ・ 1417＝32歳：日存・日道が妙本寺に起請文を入れ、
・ ・ ・ ・ ・ 1418＝33歳：続いて、日隆も妙本寺に起請文を入れたが、再び三師揃って退出。_月明によって本応寺は破却され、刺客に襲われ河内三井村に避難。救ってくれた小袖屋宗句のため、本厳寺創立。

・ ・ ・ ・ ・ 1420＝35歳：水質に悩む尼崎で井戸を掘って感謝され、管領細川満元の外護により、本興寺を創建。
・ ・ ・ ・ ・ 1421＝36歳：この年、_日存が遷化。

・ ・ ・ ・ ・ 1424＝39歳：この年、日道に続いて、元成寺の日永も遷化。

馬借京乱入・1426＝41歳：日永三回忌に当り越中に帰郷した際、_船が敦賀の色ヶ浜で座礁、岩上で祈願して病気の村人を救い、その奇瑞をみた禅寺金泉庵の庵主が改宗して本隆寺創立となる。また敦賀大正寺円海法師を破折して、本勝寺を創立。その後も、村人の病氣平癒を祈ることを主とする折伏で諸国を巡錫し、

義教籤引將軍1428＝43歳：
播磨国一揆・1429＝44歳：「妙蓮寺内証相承血脈次第条目次」を著す。***京都本応寺を再建、法華宗再興の旗印となる「四帖抄」を著して一派を起こした。**

尚氏王統確立1430＝45歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1433＝48歳：***内野の本応寺を六角大宮に移し、本能寺と改め、**
世阿弥配流・1434＝49歳：_元旦に、願文を著す。
・ ・ ・ ・ ・ 1435＝50歳：光長寺東之坊本果院日朝本能寺を訪ね一味法水の約を結ぶ。
・ ・ ・ ・ ・ 1436＝51歳：_「御文段集」を著す。

永享の乱終・1439＝54歳：_南河内古戦場を巡化した際、斯波義盛を教化して、法華寺を建立、井戸を掘って村民を救い霊水となる。
結城合戦・ ・ ・ 1440＝55歳：この年、妙本寺月明が遷化。この間、_集中的に西国布教、

嘉吉の乱・ ・ ・ 1441＝56歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1442＝57歳：_淡路の妙勝寺と妙曉寺(妙京寺)を改宗させる。
・ ・ ・ ・ ・ 1444＝59歳：_僧侶に対する「本触寺大衆信心戒条目三ヶ条文起請文」を著し、
・ ・ ・ ・ ・ 1445＝60歳：「法華宗本門弘經抄」の著述を開始。
・ ・ ・ ・ ・ 1446＝61歳：この年、智本が久速山立正寺で「富木入道御書」を书写。
成氏鎌倉公方1447＝62歳：この年、智本が久速山立正寺で「観心本尊抄副状」を书写。

・ ・ ・ ・ ・ 1448＝63歳：
足利義政將軍1449＝64歳：西国を巡遊、_牛窓の本蓮寺、兵庫の久遠寺を改宗させ、備中高松に本隆寺、宇多津に本妙寺を創立。

・ ・ ・ ・ ・ 1450＝65歳：この年、日信が本能寺二世を継承。
大和土一揆・1451＝66歳：_信徒に対する「信心法度十三ヶ条」を定め、堺に顕本寺を創立するなど、多くの寺を創建あるいは中興し、本能寺教団の基礎を築くとともに、法華宗の教線を北陸・瀬戸内諸国に大きくのばした。

・ ・ ・ ・ ・ 1452＝67歳：この年、日登が本興寺二世(両山三世)を継承。三井園城寺学頭常住院日学が帰伏。
・ ・ ・ ・ ・ 1453＝68歳：_「法華宗本門弘經抄」が完成。

享徳の乱始・1454＝69歳：_本興寺境内に勸学院を創立、研鑽に集まる学徒にも温かく接した。堺の仏師浄伝に自像を刻らしめる。

古河公方始・1455＝70歳：この年、本能寺日信が遷化。
・ ・ ・ ・ ・ 1456＝71歳：この年、日明が本能寺三世(両山四世)を継承。_「開述顕本宗要集」成る。
道灌江戸城始1457＝72歳：「三大部略大意抄」を著す。

寛正大飢饉始1459＝74歳：この年、本興寺日登が遷化。
・ ・ ・ ・ ・ 1460＝75歳：この年、日禎が本興寺三世(両山五世)を継承。

・ ・ ・ ・ ・ 1463＝78歳：_「本能寺法度七ヶ条」を定めて、
・ ・ ・ ・ ・ 1464＝79歳：尼崎本興寺で_没した。
著述三百数十巻に及び、碩学ぶりは身延山の日朝に比肩され、“東朝西隆”と称される。